

意識障害の診断、治療のため当院の救急外来を受診された患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>神経内科</u> 職名 <u>部長</u> 氏名 <u>丸山 あずさ</u> 連絡先電話番号 <u>078-945-7300</u>
実務責任者	所属 <u>神経内科</u> 職名 <u>フェロー</u> 氏名 <u>山口 宏</u> 連絡先電話番号 <u>078-945-7300</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、丸山 あずさまでご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2007年10月1日より2018年4月30日までの間に、救急科にて意識障害の診断・治療のために受診し、診療を受けた方

2 研究課題名

救急外来における意識障害患者に対する4点誘導脳波モニタリングの有用性について

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院救急科および神経内科

4 本研究の意義、目的、方法

近年、小児集中治療領域での持続脳波モニタリングにより、見た目には判別できないけいれん（非けいれん性てんかん重積）を早期に見つけ治療することが予後の改善に重要だと言われています。当院では集中治療室に入室する前の救急外来で、簡易的な脳波モニタリングによりいち早く非けいれん性てんかん重積状態を見つけ治療を開始する努力をしています。意識障害で当院救急外来を受診された患者さんの過去のデータベースを参照して、救急外来における簡易脳波モニタリングの有用性を評価します。

5 協力をお願いする内容

2007年10月1日から2018年4月30日までの約10年間の診療録とデータベースを参照させていただきます。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～2022年5月30日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、診療録およびデータベースのデータのみです。その他の個人情報（氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

丸山あずさ・神経内科・連絡先（電話番号：078-945-7300、FAX：078-302-1023、E-メールアドレス：maruyama_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上